



## 株式会社データホライゾン

## 平成 30 年 6 月期 決算短信補足説明資料

当社は、平成 29 年 5 月 1 日付けで、重症化予防の指導を行っている株式会社 D P P ヘルスパートナーズを子会社化し、平成 29 年 6 月 30 日より連結決算に移行しております。このため、本日発表しました「平成 30 年 6 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における損益計算書の前期実績には、子会社の前期実績は含まれておりません。

また、当期が第 2 期データヘルス計画および第 3 期特定健康診査等実施計画(以後、計画支援業務)の策定年度にあたり、売上高が大幅に増加しておりますので補足説明いたします。

なお、百万円未満は四捨五入して表示しております。

## 1. 売上高

## (1) 当期実績

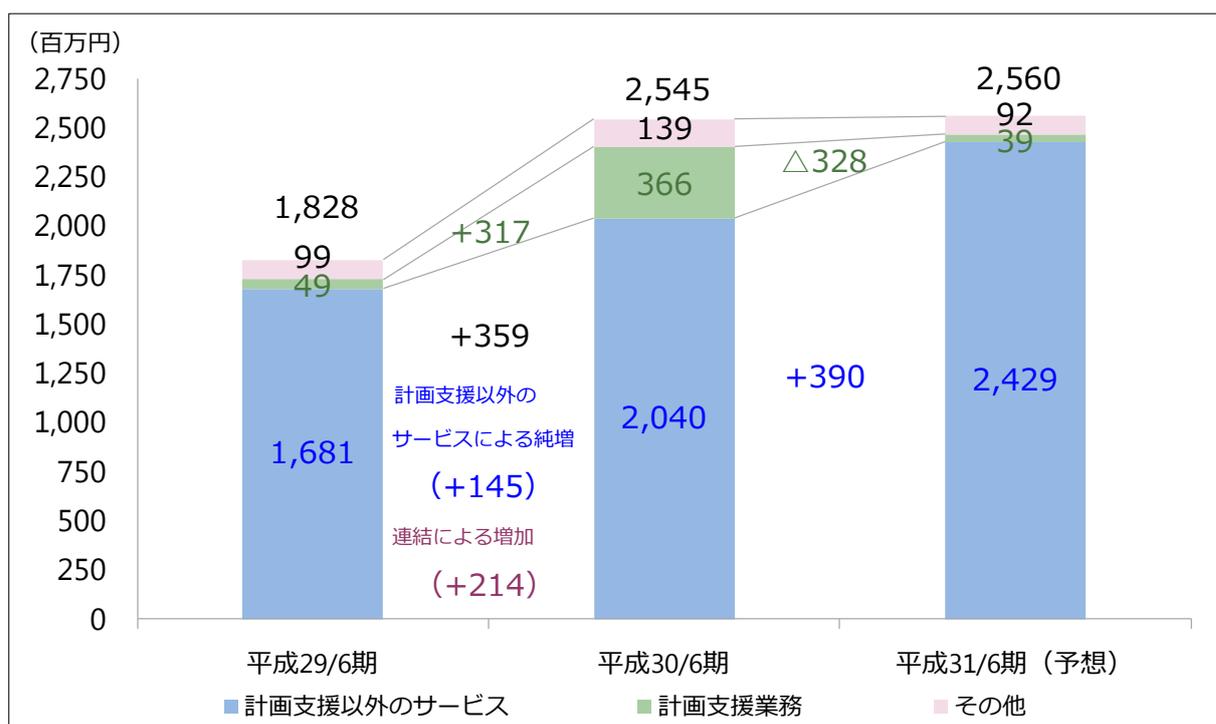
当期は前期に比べて 7 億 16 百万円増加し 25 億 45 百万円となりました。

増加の内訳は、計画支援業務の受注増加で 3 億 17 百万円、計画支援以外のサービスによる純増で 1 億 45 百万円、連結決算に移行したことで 2 億 14 百万円となっております。

## (2) 次期予想

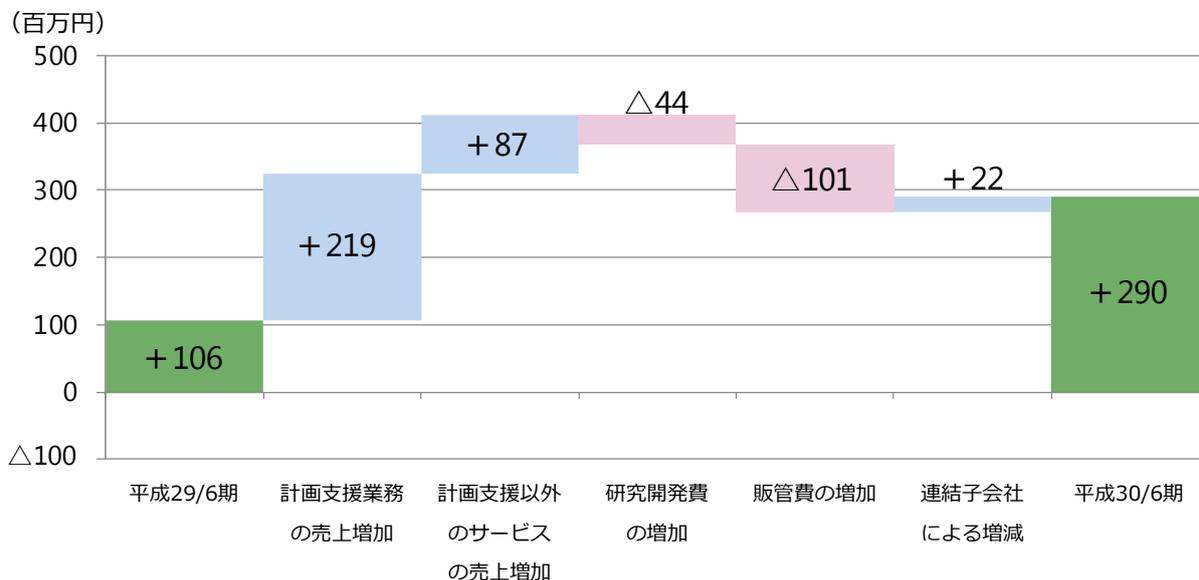
次期は当期に比べて 15 百万円増加の 25 億 60 百万円を見込んでおります。

次期も、計画支援以外のサービスは引き続き好調で 3 億 90 百万円の増加を見込んでおりますが、計画支援業務の受注が一段落したことで 3 億 28 百万円減少することにより、合計で 15 百万円増加を見込んでおります。



## 2. 当期実績と前期実績の営業利益比較

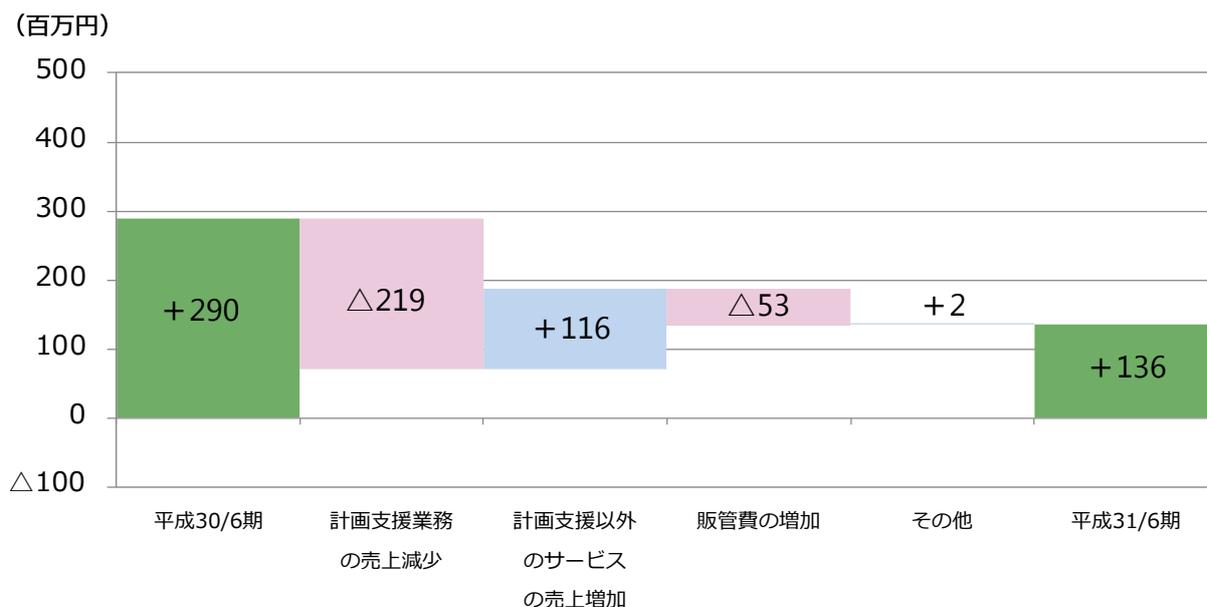
当期の営業利益は、計画支援業務の受注増加により2億19百万円、計画支援以外のサービスの受注増加により87百万円、連結決算に移行したことにより22百万円増加したものの、研究開発費が44百万円、販管費が1億1百万円増加したことにより、前期の1億6百万円に比べて1億84百万円増加し2億90百万円となりました。



## 3. 次期予想と当期実績の営業利益比較

次期の営業利益は、計画支援業務の受注減少により2億19百万円の減少、計画支援以外のサービスの受注増加により1億16百万円の増加、販管費が53百万円の増加となる見込みにより、当期の2億90百万円に比べて1億54百万円減少の1億36百万円を見込んでおります。

また、中期的な成長のための研究開発費を含む販売管理費の増加傾向は、次期から鈍化し中期的には売上高増加が利益増加に結びつく体制を目指しております。



以上